

平成二十一年度一般会計補正予算(第1号)外二件両院協議会

(1) 協議概観

平成21年4月27日国会に提出された平成二十一年度補正予算3案は、5月13日衆議院で可決されたものの、5月29日参議院で否決された。衆参両議院の議決が異なったため、衆議院から両院協議会を求められ、同日の本会議において、院議を構成した会派である民主、共産、社民の各会派から協議委員を選任した。

協議委員は直ちに両院協議会参議院協議委員議長及び副議長互選会を開き、議長に峰崎直樹君を、副議長に石井一君を互選した。

両院協議会においては、まず、くじによる抽せんの結果、参議院側の峰崎直樹協議委員議長が協議会議長となった。その後、両院に

おける議決の趣旨説明が行われ、その後各協議委員から種々意見が述べられ、最後に、参議院側を代表して石井一協議委員から、また、衆議院側を代表して田野瀬良太郎協議委員から、それぞれ締めくくりの発言が行われたものの、成案を得るに至らず、その旨各議院に報告することとなった。

両院協議会の後、衆参両議院の本会議において両院協議会の経過及び結果について各議院の協議委員議長からそれぞれ報告が行われた。その結果、平成二十一年度補正予算3案は、憲法第60条第2項の規定により、衆議院の議決が国会の議決となった。

(2) 協議経過

○平成21年5月29日(金)(第1回)

・成案を得なかった。

(3) 平成二十一年度一般会計補正予算(第1号)外二件両院協議会参議院協議委員議長報告

平成二十一年度一般会計補正予算(第1号)外二件両院協議会の経過及び結果について御報告申し上げます。

本院協議委員は、先ほどの本会議におきまして、議長より指名されました後、直ちに協議委員議長及び副議長の互選を行い、その結果、協議委員議長に私、峰崎直樹が、副議長に石井一君がそれぞれ選任されました。

なお、衆議院におきましては、衛藤征士郎君が協議委員議長に、鈴木恒夫君が副議長に選任されました。

両院協議会の初会の議長はくじにより決することとなっておりますので、開会に先立ち抽せんを行いました結果、参議院側協議委員議長の私が議長に当選いたしました。

協議会におきましては、衆議院側から、景気の底割れを回避するために、雇用対策、金融対策な

などを打ち出していること、中長期的な成長を実現するため、「低炭素革命」、「健康長寿・子育て」等の分野を重点的に推進すること、国民の安心と活力をもたらすため、防災・安全対策に取り組んでいること等の理由で原案どおり可決した旨の説明がありました。

次に、本院側から、46の基金に4兆3,000億円もの資金を投入し、予算の単年度主義に反して多年度にわたる支出が行われること、官庁や独立行政法人等の不要不急の施設整備のため当初予算を大幅に上回る予算が計上されていること、政府経済見通しを下方修正したにもかかわらず税収の減額補正を行っていないこと等の理由により、否決した旨の説明がありました。

次に、協議に移りましたところ、各協議委員から種々の意見が述べられました。

その後、懇談に入り、熱心な協議が行われましたが、平成二十一年度一般会計補正予算（第1号）外二件両院協議会は、意見の一致を見るに至らず、成案が得られませんでした。

なお、両院協議会の開催方法、構成、人数等、その在り方について、本院側より、「これまでの経緯を踏まえて、今国会中に、できるだけ速やかに衆参両院において、それぞれ成案を得るべく努力し、一定の結論を得るべきである」旨の意見が出され、衆議院側からは、この点について改めて議長に報告する旨の発言がありました。

以上、御報告申し上げます。

(4) 協議表

案 件	請求議院	請求の理由	請求日	本 院 協議委員 選挙日	両 院 協議会 開会日	成案の議決		備 考
						参議院	衆議院	
平成二十一年度一般会計補正予算(第1号)外二件	衆議院	両議院議決不一致	21.5.29	21.5.29	21.5.29	協議会において成案を得なかった		憲法第60条第2項により衆議院の議決が国会の議決となった

(5) 協議委員

議 長	峰崎 直樹 (民主)	小林 正夫 (民主)	大門 実紀史 (共産)
副議長	石井 一 (民主)	鈴木 寛 (民主)	又市 征治 (社民)
	小川 勝也 (民主)	水岡 俊一 (民主)	
	亀井 亜紀子 (民主)	森 ゆうこ (民主)	